株式会社　尾形建築

# エコアクション21

# 環境経営レポート

活動期間　　2022年 5月1日～2023年 4月30日

レポート発行日　2023年7月1日

OGATA KENCHIKU

# 目　　次

OGATA KENCHIKU


| | | ページ |
|---|---|---|
| １、 | 取組の対象組織･活動の明確化 | 3 |
| ２、 | 環境経営方針 | 5 |
| ３、 | 実施体制図 | 6 |
| ４、 | 環境経営目標 | 7 |
| ５、 | 環境経営計画 | 8 |
| ６、 | 環境経営目標の実績 | 9 |
| ７、 | 環境経営計画実績 | 10～11 |
| ８、 | 次年度以降の環境経営目標 | 12 |
| ９、 | 次年度の環境経営計画 | 13 |
| １０、 | 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果 | 14～15 |
| １１、 | 代表者による全体の評価と見直し | 16 |

# 1. 取組の対象組織・活動の明確化

OGATA KENCHIKU

## □組織の概要

（1）名称及び代表者名
　株式会社　尾形建築
　代表取締役社長　尾形　裕樹

（2）所在地
　本　　社　　徳島県板野郡北島町鯛浜字西ノ須51番地117
　資機材置場　　徳島県鳴門市大津町木津野字日加志の越
　中間処理施設　　徳島県鳴門市大麻町桧字丸山44番１(㈱尾形建築コンクリートリサイクルセンター)

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
　責任者　　尾形　あすか　　TEL:088-697-2233

（4）事業内容
　土木及び建築工事、産業廃棄物の収集運搬、中間処理、解体工事

（5）事業の規模
　法人設立　　S54年4月
　資本金　　2,000 万円
　売上高　　63,084 万円

| . | 本社 | 資機材置場 | 中間処理施設 |
|---|---|---|---|
| 従業員　（名） | 26 | 2 | 1 |
| 延べ床面積（㎡） | 197.4 | 2293 | 488 |

（6）事業年度　　５月～４月

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:　　株式会社　尾形建築

対象事業所:　　本　　社
　　資機材置場
　　中間処理施設(㈱尾形建築コンクリートリサイクルセンター)

活　　動:　　土木工事業、解体工事、産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業

## □許可の内容、施設の状況

### ○産業廃棄物収集運搬業許可の内容

| 許可区域 | 許可番号 | 許可年月日 | 許可有効年月日 | 積替保管 | 廃棄物の種類 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 燃え殻 | 汚泥 | 廃プラスチック | 木くず | 紙くず | 繊維くず | ゴムくず | ガラス・コンクリート・陶器くず | がれき類 | 廃油 | 廃酸 | 廃アルカリ | 金属くず | 動植物性残さ | 鉱さい |
| 徳島県 | 3600011859 | 平成31年1月4日 | 令和5年12月1日 | 無 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| 香川県 | 3708011859 | 平成31年4月8日 | 令和6年3月14日 | 無 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |

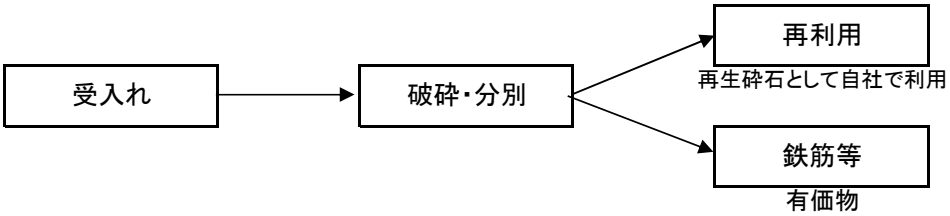
### ○収集運搬の用に供する施設

ダンプトラック等　10台

## ○産業廃棄物処分業許可の内容（㈱尾形建築コンクリートリサイクルセンター）

| 事業の区分 | 許可番号 | 許可年月日 | 許可有効年月日 | 取り扱う産業廃棄物の種類 | 施設の種類<br>処理能力 |
|---|---|---|---|---|---|
| 中間処理<br>（破砕） | 3620011859 | 令和3年1月26日 | 令和8年1月25日 | がれき類 | 破砕施設<br>504t/日（8時間，63t/h） |

## ○処理工程図




□受託した産業廃棄物の処理量

2022年 （ 2022年 5月 ～ 2023年 4月）

| | 廃棄物の種類 | 単位 | 収集運搬量 |
|---|---|---|---|
| 収集運搬 | 木くず | t | 690.97 |
| | がれき・コンクリート屑 | t | 16985.67 |
| | ガラスくず・陶磁器くず | t | 26.5 |
| | 石綿含有産業廃棄物 | t | 44.2 |
| | | | |
| 合計 | | t | 17747.34 |

| | | 廃棄物の種類 | 処理方法等 | 単位 | 処理量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 中間処理 | | がれき・コンクリート屑 | 破砕 | t | 9661.44 |
| | | | | | |
| | うち 再資源化等 | がれき・コンクリート屑 | 再生砕石として利用 | t | 9661.44 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | 小計 | | t | 9661.44 |
| 合計 | | | | t | 9661.44 |

## ２. 環境経営方針

OGATA KENCHIKU

# 環 境 経 営 方 針

## ＜環境理念＞

私たちは、環境保全が重要課題であることを認識して、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

## ＜環境保全への行動指針＞

１． 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。

２． 二酸化炭素削減の為の省エネ活動に取組みます。

３． 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取組みます。

４． 水資源削減に努めます。

５． 環境経営の継続的改善を推進します。

６． 全ての現場において環境配慮と効率の良い施工を行います。

７． 環境関連法規を遵守します。

８． 本方針を全従業員に周知徹底させ、かつ環境に関する教育及び啓蒙活動を実施して環境経営方針に関する意識の向上を図ります。

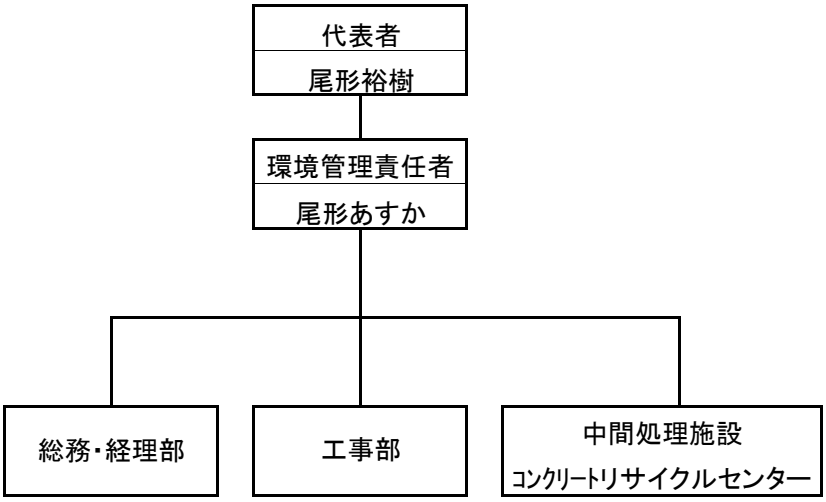
９． 収集運搬及び中間処理を通じ、循環型社会の形成に貢献します。

制定日： 2017年11月1日
改定日： 2022年2月27日

代表取締役社長 **尾形 裕樹**

# 3. 実施体制図

〔認証登録範囲〕




| | 役割・責任・権限 |
|---|---|
| 代表者（社長） | ・環境経営に関する統括責任<br>・環境管理責任者を任命<br>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知<br>・環境経営目標・環境経営計画を承認<br>・代表者による全体の評価と見直しを実施<br>・環境経営レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | ・環境経営システムの構築、実施、管理<br>・環境関連法規等の取りまとめ表の作成、遵守確認、承認及び最新版管理<br>・環境経営目標・環境経営計画を作成、確認<br>・環境経営の取組結果を代表者へ報告<br>・環境経営レポートの確認<br>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施<br>・環境経営の実績集計<br>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口<br>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） |
| 各部門 | ・自部門における環境経営方針の周知<br>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施<br>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告<br>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施<br>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成<br>試行・訓練を実施、記録の作成<br>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 全従業員 | ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚<br>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

# 4. 環境経営目標

OGATA KENCHIKU

## ○中長期目標

| 目的 | 単位 | 目　　標 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 基準年(2021年) | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 414,929.690 | 406,631.096 | 402,481.799 | 398,332.502 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 17,455 | 17,106 | 16,931 | 16,757 |
| ・燃料使用量削減 | L | 150,360.6 | 147,353.4 | 145,849.8 | 144,346.2 |
| 廃棄物排出量削減 | t | 7,689.626 | 7,535.833 | 7,458.937 | 7,382.041 |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 365 | 361 | 357 |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 | 100 | 100 |

＊１．電力のCO2排出量については、
　　四国電力2018年度実績の調整後排出係数　0.528（kg-CO2/kWh）を使用した。
＊２．化学物質は使用していないため、化学物質使用量削減目標は設定していない。

## ○単年度目標

**・取組期間　2022年　5月　～　2023年　4月**

**・全体**

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 |
|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 414,929.690 | 406,631.096 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 17,455 | 17,106 |
| ・燃料使用量削減 | L | 150,360.6 | 147,353.4 |
| 廃棄物排出量削減 | t | 7,689.626 | 7,535.833 |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 365 |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 |

**・事務所**

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 |
|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 31,737.240 | 31,102.495 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 16,701 | 16,367 |
| ・燃料使用量削減 | L | 9,240.7 | 9,055.9 |
| 一般廃棄物排出量削減 | t | 0.006 | 0.006 |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 365 |

**・建設現場**

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 |
|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 383,192.450 | 375,528.601 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 754 | 739 |
| ・燃料使用量削減 | L | 141,119.9 | 138,297.5 |
| 産業廃棄物排出量削減 | t | 7,689.620 | 7,535.828 |
| 水総使用量削減 | m3 | — | — |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 |

# 5. 環境経営計画

OGATA KENCHIKU

## ○事務所

**・取組期間　2022年　5月　～　2023年　4月**

| | | 目標 | 具体的実施項目 | 実施責任者 |
|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素 | 電気使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①不要な照明を消す<br>②適正温度の維持 | 尾形あすか |
| | 燃料使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①アイドリングストップの徹底<br>②エコドライブの励行 | 尾形あすか |
| 廃棄物 | 一般廃棄物削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①コピー用紙の表裏の使用<br>②リサイクル品と一般の分別 | 尾形あすか |
| 水使用量 | 節水 | 基準年比<br>2%削減 | ①節水シール貼付とポスター掲示 | 尾形あすか |

## ○建設現場

**・取組期間　2022年　5月　～　2023年　4月**

| | | 目標 | 具体的実施項目 | 実施責任者 |
|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素 | 電気使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①不要な照明を消す<br>②適正温度の維持<br>③休憩時、不在時の消灯 | 木野貴仁 |
| | 燃料使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①アイドリングストップの徹底<br>②エコドライブの励行 | 木野貴仁 |
| 廃棄物 | 産業廃棄物削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①マニフェストの徹底管理<br>②分別の徹底 | 木野貴仁 |
| 水使用量 | 節水 | 基準年比<br>2%削減 | ①節水シール貼付とポスター掲示 | 木野貴仁 |
| 環境配慮施工 | 環境配慮した施工 | 100% | ①作業騒音振動粉塵対策<br>②作業着手前に各手順を周知し効率的な作業を行う<br>③雇用の推進及び技術の継承 | 木野貴仁 |

# 6. 環境経営目標の実績

OGATA KENCHIKU

## ○取組期間　2022年　5月　～　2023年　4月

### ・全体

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 | 実績 | 評価 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 414,929.690 | 406,631 | 463,838 | × | 87.7% |
| ・電気使用量削減 | kWh | 17,455 | 17,106 | 22,170 | × | 77.2% |
| ・燃料使用量削減 | L | 150,360.6 | 147,353 | 168,280 | × | 87.6% |
| 廃棄物排出量削減 | t | 7,689.626 | 7,536 | 17,838 | × | 42.2% |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 365 | 363 | ○ | 100.4% |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 | 100 | ○ | 100.0% |

### ・事務所

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 | 実績 | 評価 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 31,737.240 | 31,102 | 27,137 | ○ | 114.6% |
| ・電気使用量削減 | kWh | 16,701 | 16,367 | 20,229 | × | 80.9% |
| ・燃料使用量削減 | L | 9,240.7 | 9,056 | 7,022 | ○ | 129.0% |
| 一般廃棄物排出量削減 | t | 0.006 | 0.006 | 0.033 | × | 18.2% |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 365 | 363 | ○ | 100.4% |

### ・建設現場

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 | 実績 | 評価 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 383,192.450 | 375,529 | 436,701 | × | 86.0% |
| ・電気使用量削減 | kWh | 754 | 739 | 1,941 | × | 38.1% |
| ・燃料使用量削減 | L | 141,119.9 | 138,297 | 161,258 | × | 85.8% |
| 産業廃棄物排出量削減 | t | 7,689.620 | 7,536 | 17,838 | × | 42.2% |
| 水総使用量削減 | m3 | — | — | — | — | — |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 | 100 | ○ | 100.0% |

（※一般廃棄物はコピー用紙のみを目標とする）

90%以上　○：達成
90%未満　×：未達

**○コメント(事務所と現場を記述)**

| | | |
|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減 | 事務所 | ・アイドリングストップの徹底と、エコドライブの励行を行い燃料使用量が減り、目標達成となった。 |
| | 現場 | ・基準年に比べて売上高が上がっていること、中間処理施設が稼働していることから燃料使用量が多くなり目標未達成となった。 |
| 廃棄物排出量の削減 | 一廃 | ・排出量を削減することができなかった。 |
| | 産廃 | ・解体工事物件が多かったこともあり産業廃棄物排出量も比例して多くなった。 |
| 水総使用量の削減 | ・節水対策を行い、目標達成できた。 | |
| 環境配慮施工 | ・各現場ともに近隣への配慮のため、低騒音排ガス規制型建設機械を使用。<br>・常に最新の重機を更新導入している。 | |

# ７－１. 環境経営計画実績

OGATA KENCHIKU

## ○事務所

**・取組期間　2022年　5月　～　2023年　4月**

| | | 目標 | 具体的実施項目 | 実施責任者 | Ⅰ期 | Ⅱ期 | Ⅲ期 | Ⅳ期 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素 | 電気使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①不要な照明を消す<br>②適正温度の維持 | 尾形あすか | ○<br>○ | ○<br>△ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ |
| | 燃料使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①アイドリングストップの徹底<br>②エコドライブの励行 | 尾形あすか | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ |
| 廃棄物 | 一般廃棄物削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①コピー用紙の表裏の使用<br>②リサイクル品と一般の分別 | 尾形あすか | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ |
| 水使用量 | 節水 | 基準年比<br>2%削減 | ①節水シール貼付とポスター掲示 | 尾形あすか | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

Ⅰ期　5～ 7月　　○:計画通り実施
Ⅱ期　8～10月　　△:一部出来なかった
Ⅲ期　11～ 1月　　×:出来ていない
Ⅳ期　2～ 4月

## ○評価に対するコメントと次年度の取組内容

| 目的 | 評価に対するコメント | 次年度の取組内容 |
|---|---|---|
| 二酸化炭素 | ・事務所内の電力使用は具体的実施項目に基づき実施できた。<br>・社用車はHV車を積極的に導入し、燃料削減に繋げている。また無駄な移動を避ける等、意識を持った取組を行っている。、 | 継続して取り組む。 |
| 廃棄物 | ・一般廃棄物における最大の排出はコピー用紙であり、この削減への取組として、書類の電子化、裏紙使用や両面コピーの取り組みを行った。 | 継続して取り組む。 |
| 水使用量 | ・水使用量は現場での粉塵防止のための散水及び洗車であるが、無駄な使用を避け、使用量を削減することができた。 | 継続して取り組む。 |

# ７－２. 環境経営計画実績

OGATA KENCHIKU

## ○建設現場

**・取組期間　2022年　5月　～　2023年　4月**

| | | 目標 | 具体的実施項目 | 実施責任者 | Ⅰ期 | Ⅱ期 | Ⅲ期 | Ⅳ期 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素 | 電気使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①不要な照明を消す<br>②適正温度の維持<br>③休憩時、不在時の消灯 | 木野貴仁 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○ |
| | 燃料使用量削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①アイドリングストップの徹底<br>②エコドライブの励行 | 木野貴仁 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ |
| 廃棄物 | 産業廃棄物削減 | 基準年比<br>2%削減 | ①マニフェストの徹底管理<br>②分別の徹底 | 木野貴仁 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ |
| 水使用量 | 節水 | 基準年比<br>2%削減 | ①節水シール貼付とポスター掲示 | 木野貴仁 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 環境配慮施工 | 環境配慮した施工 | 各現場取組<br>100% | ①作業騒音対策<br>②作業着手前に各手順を周知し効率的な作業を行う<br>③雇用の推進及び技術の継承 | 木野貴仁 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○ |

Ⅰ期　5～ 7月　○:計画通り実施
Ⅱ期　8～10月　△:一部出来なかった
Ⅲ期　11～ 1月　×:出来ていない
Ⅳ期　2～ 4月　—:該当なし

## ○評価に対するコメントと次年度の取組内容

| 目的 | 評価に対するコメント | 次年度の取組内容 |
|---|---|---|
| 二酸化炭素 | ・事務所の取組と同様に実施している。 | 継続して取り組む。 |
| 廃棄物 | ・産業廃棄物は可能な限り現場内で分別し適正処理を行っている。<br>・収集運搬及び中間処理については委託契約のもと適正に処理するとともに電子マニフェストを使用している。 | 継続して取り組む。 |
| 水使用量 | ・事務所の取組に基づき実施している。 | 継続して取り組む。 |
| 環境配慮施工 | ・常に最新の排ガス対策型、低騒音型重機を導入し現場で稼働させている。燃費もよく燃料使用の削減に貢献している。<br>・解体工事着手前には施工（作業）計画を立て、関係者に周知させたのちに作業に着手している。<br>・最新機器や最新の施工方法を常に模索し導入に心掛けている。<br>・従業員の口コミ等で新規雇用確保を推進している。また、HPをリニューアルし、自社のアピールと雇用に繋げていきたいと思っている。 | 継続して取り組む。 |

# 8. 次年度以降の環境経営目標

## ○中長期目標

| 目的 | 単位 | 目　　標 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 基準年(2021年) | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 414,930 | 406,631 | 402,482 | 398,333 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 17,455 | 17,106 | 16,931 | 16,757 |
| ・燃料使用量削減 | L | 150,361 | 147,353 | 145,850 | 144,346 |
| 廃棄物排出量削減 | t | 7,690 | 7,536 | 7,459 | 7,382 |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 365 | 361 | 357 |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 | 100 | 100 |

＊１．電力のCO2排出量については、
　　四国電力2018年度実績の調整後排出係数　0.528（kg-CO2/kWh）を使用した。
＊２．化学物質は使用していないため、化学物質使用量削減目標は設定していない。

## ○単年度目標

**・取組期間　2023年　5月　～　2024年　4月**

**・全体**

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 |
|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 414,929.690 | 402,482 |
| | kWh | 17,455 | 16,931 |
| ・燃料使用量削減 | L | 150,360.6 | 145,850 |
| 廃棄物排出量削減 | t | 7,689.626 | 7,459 |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 361 |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 |

**・事務所**

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 |
|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 31,737.240 | 30,785 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 16,701 | 16,200 |
| ・燃料使用量削減 | L | 9,240.7 | 8,963 |
| 一般廃棄物排出量削減 | t | 0.006 | 0.006 |
| 水総使用量削減 | m3 | 372 | 361 |

**・建設現場**

| 目的 | 単位 | 基準年(2021年) | 目標 |
|---|---|---|---|
| 二酸化炭素の削減　＊1 | kg-CO2 | 383,192.450 | 371,697 |
| ・電気使用量削減 | kWh | 754 | 731 |
| ・燃料使用量削減 | L | 141,119.9 | 136,886 |
| 産業廃棄物排出量削減 | t | 7,689.620 | 7,459 |
| 水総使用量削減 | m3 | — | — |
| 環境配慮施工 | % | 100 | 100 |

# 9. 次年度の環境経営計画

OGATA KENCHIKU

## ○事務所

**・取組期間　2023年　5月　～　2024年　4月**

| | | 目標 | 具体的実施項目 | 実施責任者 |
|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素 | 電気使用量削減 | 基準年比<br>3%削減 | ①不要な照明を消す<br>②適正温度の維持 | 環境管理責任者 |
| | 燃料使用量削減 | 基準年比<br>3%削減 | ①アイドリングストップの徹底<br>②エコドライブの励行 | 環境管理責任者 |
| 廃棄物 | 一般廃棄物削減 | 基準年比<br>3%削減 | ①コピー用紙の表裏の使用<br>②リサイクル品と一般の分別 | 環境管理責任者 |
| 水使用量 | 節水 | 基準年比<br>3%削減 | ①節水シール貼付とポスター掲示 | 環境管理責任者 |

## ○建設現場

**・取組期間　2023年　5月　～　2024年　4月**

| | | 目標 | 具体的実施項目 | 実施責任者 |
|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素 | 電気使用量削減 | 基準年比<br>3%削減 | ①不要な照明を消す<br>②適正温度の維持<br>③休憩時、不在時の消灯 | 工事部　担当 |
| | 燃料使用量削減 | 基準年比<br>3%削減 | ①アイドリングストップの徹底<br>②エコドライブの励行 | 工事部　担当 |
| 廃棄物 | 産業廃棄物削減 | 基準年比<br>3%削減 | ①マニフェストの徹底管理<br>②分別の徹底 | 工事部　担当 |
| 水使用量 | 節水 | 基準年比<br>3%削減 | ①節水シール貼付とポスター掲示 | 工事部　担当 |
| 環境配慮施工 | 環境配慮した施工 | 各現場取組<br>100% | ①作業騒音振動粉塵対策<br>②作業着手前に各手順を周知し効率的な作業を行う<br>③雇用の推進及び技術の継承 | 工事部　担当 |

# 10. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果

OGATA KENCHIKU

## 環境関連法規等のチェックリスト

| | 法令等の名称 | 該当する条項等 | 適用される要求事項 |
|---|---|---|---|
| 基本・一般 | ○環境基本法 | 第8条 | ■事業者の責務（ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める） |
| 大気 | ○大気汚染防止法 | 第2条 | □特定施設（ばい煙・一般粉じん・特定粉じん排出）<br>□排出基準の遵守<br>□測定の記録と保管<br>□定期報告 |
| | | 第18条 | □特定粉じん排出等作業実施届出書<br>（特定粉じん排出等作業の開始の日の14日前）<br>■事前調査・結果の記録、掲示、届出 |
| | ○労働安全衛生法（労働安全衛生規則） | 第90条 | ■レベル1、レベル2の除去作業については、工事開始の14日前までに建設工事計画を労働基準監督署に届ける。 |
| | ○自動車から排出される窒素感化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車Nox・PM法） | 第4条<br>第12条<br>第17条 | ■事業者の責務（自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める）<br>□対策域内での使用及び所有の不可<br>□削減計画（対象自動車保有数30台以上） |
| | ○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法) | 第6条<br>第19条<br>第41条<br>第5条<br>第43条<br>第16条 | ■特定製品（業務用エアコン、冷蔵庫等）の整備・廃棄時のフロン回収・破壊<br>■引取証明書による回収・破壊の工程の確認<br>■フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し<br>■環境影響の少ない指定製品の使用に努め<br>■フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間）<br>■引取証明書が30日以内に送付されない場合の知事への報告<br>■対象；第1種特定機器<br>・簡易点検（すべて　1回/3ヶ月以上）<br>・有資格者による定期点検<br>空調機器(7.5kW以上1回/3年以上、50kW以上1回/年以上)<br>冷蔵冷凍機器(7.5kW以上 1回/年以上)<br>・点検記録の保存（廃棄まで） |
| | | 第42条 | ■特定解体工事元請業者<br>・当該建築物その他の工作物における第1種特定製品の設置の有無について確認<br>・特定解体工事発注者に対し、確認の結果を書面で交付（写しを3年間保存） |
| 水質 | ○浄化槽法 | 第5条<br>第8～10条<br>第11条 | ■設置または変更時の届出<br>■保守点検<br>■定期検査 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 騒音 | ○騒音規制法 | 第5条<br><br>第6条<br><br>第8条 | □特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守<br>■特定施設（施行令別表第1）の届出<br>例：空気圧縮機・送風機7.5kw以上<br>□特定施設の変更届（騒音が増加しない場合はこの限りではない） |
| 振動 | ○振動規制法 | 第5条<br><br>第6条 | □特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守<br>■特定施設（施行令別表第1）の届出 |
| 廃棄物・リサイクル | ○循環型社会形成推進基本法 | 第11条 | ■事業者の責務（廃棄物なることの抑制） |
| | ○廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法） | 第7条<br>第14条<br>第15条<br>第12条<br><br><br><br><br><br>施行例8条 | □一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要<br>□産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要<br>■保管基準の遵守（表示、衛生管理等）<br>表示：60cm角以上、種類、氏名・連絡先<br>■許可業者に委託（一廃は許可証の確認）<br>■許可業者に委託（産廃は契約）<br>■多量排出事業者の削減計画提出・報告<br>■マニュフェスト発行・返送遅延時の届出<br>■マニュフェスト交付状況の報告<br>■専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託 |
| | ○特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律 | 第2条 | □特定有害廃棄物等の輸入・輸出・運搬及び処分 |
| | ○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB処理法） | 第2条上 | □ポリ塩化ビフェニル廃棄物 |
| | ○資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法） | 第4条 | ■パソコンのリサイクル化 |
| | ○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法) | 第4条 | ■事業者の責務（分別排出の協力）<br>□容器包装入り製品の販売 |
| | ○特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） | 第6条 | ■TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄 |
| | ○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法) | 第5条 | ■事業者の責務 |
| | ○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法） | | ■解体時のリサイクル化 |
| 条例 | ○徳島県環境基本条例 | 第6条 | ■事業者の責務 |
| | ○徳島県生活環境保全条例 | 第96条 | ■事業を行う者の環境配慮等 |

○　遵守確認結果：事業活動に関連する環境法規制について遵守確認(2023年4月28日）を実施したところ、法違反はありませんでした。また、訴訟等もありません。

# 11. 代表者による全体の評価と見直し

OGATA KENCHIKU

実施日: 2023年7月1日

| 見直しの必要性の有無・見直し事項 |
|---|
| （環境経営方針） |
| 見直しの必要性　□ 有　■ 無 |
| ・継続する。 |
| （環境経営目標・環境経営計画） |
| 見直しの必要性　□ 有　■ 無 |
| ・継続する。 |
| （実施体制） |
| 見直しの必要性　□ 有　■ 無 |
| ・なし |
| （その他） |
| 見直しの必要性　□ 有　■ 無 |
| ・なし |
| （総　括） |
| 代表者が変わり1年が経ったが、全社員が一丸となりコンスタントに仕事が入ったため<br>基準年を大きく上回る売上となった。<br>そのため、産業廃棄物の排出量も増え、CO2排出量も増えた。<br>事業活動においては、コンクリートリサイクルセンターを利用し、<br>自社で再利用もできる体制になったが、その分燃料使用量が増えた。<br>今後、この推移をみながら環境経営目標値設定に反映させていく必要がある。<br>今後の会社の取り組みとして、事務所では電子化を進めていき、紙の使用を<br>減らしていく。現場では、機械や車輌の整備を頻回に行い、省燃費運転を<br>心掛け、地球にやさしい会社づくりを目指す。 |